北　海　道　通　信

道建設部の優秀業者表彰

2社の功績たたえる

遊佐組と宮坂建設工業

帯広土現

【帯広発】帯広土現は八月二十七日、土現A会議室で二十年度建設部工事等優秀業者表彰式を挙行した。佐伯繁樹所長が工事部門二社の代表者に知事感謝状を手渡し、功績をたたえた。

本年度、帯広土現管内からは工事部門の一般土木Aで㈱遊佐組（池田、遊佐隆社長）、鋼橋上部で宮坂建設工業㈱（帯広、宮坂寿文社長）が受賞した。

表彰式には幹部職員が列席。冒頭あいさつに立った佐伯所長は、全道の一般土木一千四百五十五社、鋼橋上部二十七社の中から、管内二社が選出されたことを喜んだあと、「予算縮減や低入札など経営・受注環境が厳しい中、安心で丈夫な公共施設が求められる」と述べ、「今回の受賞を機に十勝のリーディング企業として発展してほしい」と、さらなる飛躍に期待を寄せた。引き続き、佐伯所長が受賞各社の代表者に感謝状を贈呈し、栄誉をたたえた＝写真＝。

遊佐組の遊佐社長は「日ごろからのご指導のたまもの」と受賞の喜びを述べ、「より一層、技術力の向上を図っていきたい」とあいさつ。続いて、宮坂建設工業㈱の天谷直純顧問は「今後は栄誉に甘んずることなく、研鑽に励み地域に貢献したい」と述べた。

表彰式後の懇談では、あらためて佐伯所長が昭和四十年度から続く由緒ある賞を受賞した各社を称賛。「現場や技術者の励みになってくれれば」と話した。

宮坂建設工業㈱

鋼橋上部

宮坂寿文社長

町道北新内線改良佐幌大橋上部ゼロ国

宮坂・生駒・草野JV

宮坂建設工業㈱（帯広市）は、大正十一年に創業。以来、卓越した技術力で実績を伸ばし、管内を代表する企業として確固たる地位を築いている。

資本金は一億円、社員数は百五十九人。

「町道北新内線改良佐幌大橋上部ゼロ国」は、帯広土現の十九年度工事評点で最高点となる96点をあげた。主な受注先としては道建設部をはじめ、開発局、道農政部、帯広市など幅広く、各発注機関から高い信頼を得ている。